

個性を生かして活動しようとする生徒。

4 研究の見通し

学級生活の場において、構成的グループ・エンカウンターなどを通して、児童生徒一人一人が、学級内の対人関係の拡大・改善を図るとともに、互いのよさや違いを認め合える指導援助をしていけば、本研究で目指す児童生徒像に近づくであろう。

5 研究計画

[第1年次]

- (1) 平成7～8年度の研究計画づくり
 - ① これまでの研究の成果と課題の確認
 - ② 2年間の研究の方向づけ
- (2) 指導援助の在り方についての研究
- (3) 研究協力員体制づくり
 - ① 小学校・中学校・高等学校各2学級の選定
 - ② 協力員との打ち合わせ
- (4) 協力学級での実践
 - ① アンケート調査や担任の観察から、学級の児童生徒を《順応》など3つにグルーピング
 - ② 自己理解や他者理解を深める構成的グループ・エンカウンターなどの実践
- (5) 1年次の研究のまとめ

[第2年次]

- (1) 第1年次の成果と課題の確認
- (2) 指導援助の在り方の再検討
- (3) 研究協力員体制づくり(第1年次と同じ)
- (4) 協力学級での実践
 - ① 他者受容や他者とのかかわりを深める構成的グループ・エンカウンターなどの実践
 - ② 《順応》の児童生徒を中心にした変容
- (5) 2年間の研究のまとめ

III 研究内容

1 指導援助の在り方を探る調査研究について

まず、指導援助の在り方を探るために、学級生活のアンケートによって、児童生徒の実態をとらえることにした。(資料1)

なお、(資料1)は、小学校の例だが、中学校・高等学校も表現が異なるだけで、内容は同じである。

(資料1) 学級生活のアンケート (小学生用)

この調査は、学級生活についてのあなたの気持ちを調べる調査です。質問の中の「みんな」は「学級のみんな」と考えて答えてください。

- ① あなたは、みんなの前で自分の考えを気軽に話すことができますか。
できる だいたいできる あまりできない ぜんぜんできない
- ② あなたは、休んでいる友達のことを、考えたり心配したりしますか。
いつもする ときどきする あまりしない ぜんぜんしない
- ③ あなたは、一日の学級生活をふり返って、自分なりに「やったあ」と思うことがありますか。
いつもある ときどきある あまりない ぜんぜんない
- ④ あなたは、みんなから信頼されたりしていると思いますか。
とても思う まあまあ思う あまり思わない ぜんぜん思わない
- ⑤ あなたは、みんなといっしょにすることが楽しいですか。
とても楽しい まあまあ楽しい あまり楽しくない ぜんぜん楽しくない
- ⑥ あなたは、みんなで何かを決めるとき、自分の考えをもたずに、他の友達にまかせてしまうことがありますか。
いつもある よくある あまりない ぜんぜんない
- ⑦ あなたは、毎日、めあてをもって生活しようとしていますか。
毎日 ときどき あまり ぜんぜん
しようとしている しようとしている しようしていない しようしていない
- ⑧ あなたは、〇年〇組でよかったなあと思いますか。
とても思う まあまあ思う あまり思わない ぜんぜん思わない
- ⑨ あなたは、学級で何かをするとき、すすんで取り組もうとしますか。
いつもする だいたいする あまりしない ぜんぜんしない
- ⑩ あなたは、友達のよい点や自分と違った考えをわかろうとしていますか。
とてもしている まあまあしている あまりしていない ぜんぜんしていない
- ⑪ あなたは、自分と違った考えをもつ友達とも、いっしょに、活動していますか。
とてもしている まあまあしている あまりしていない ぜんぜんしていない
- ⑫ あなたは、今の学級を「こんな学級にしたい」という自分の考えや願いを自由に書いてください。

なお、アンケートの調査項目は、以下のとおりである。

ア 適応を探る項目(①～⑤)

イ 順応を探る項目(⑥と⑦)

ウ 好ましい人間関係をみる項目(⑧と⑨)

本年度の研究で目指す好ましい人間関係を、この項目で質問した。

エ 互いのよさや違いを認め合えるかをみる項目(⑩と⑪)

次年度の研究で目指す、児童生徒が互いのよさや違いを認め合えるかを、この項目で質問した。

以上の調査判定は、評定尺度の左側から、4点・